

花ちゃん・オー君・モンタ博士のわくわくドキドキ国立てくてく

国立第七小学校 平成25年7月16日 NO.32

モンタ博士「この前のクイズの答えを発表します。その前に、小学生にとっては、ちょっとむずかしすぎたかなと反省（はんせい）しています。でもね、植物を見る時に、何の仲間（なかま）かということをよく考えることが大切なのさ。いくつかの植物のなかま、これを科（か）とって、花の形やつくりを観察（かんさつ）して科というものをつくったのさ。」

オー君 「おいら、初めて聞く野菜の名前や科がいっぱいあって、まいったな。」

花ちゃん 「私だってお手上げよ。12こしかあってなかったわ。」

モンタ博士「10こできれば大したものさ。15こできたら天才だね。20こなら博士だよ。」

果采類（かさいるい）	番号	葉采類（はさいるい）	番号	根菜類（こんさいるい）	番号
ブロッコリー	4	ハクサイ	4	ダイコン	4
ナス	6	シュンギク	1	ジャガイモ	6
カボチャ	12	セリ	5	サツマイモ	11
エンドウ	13	アサツキ	2	キクイモ	1
ナンキンマメ	13	コマツナ	4	ゴボウ	1
カンピョウ	12	アスパラガス	2	コンニャク	14
インゲン	13	フキ	1	サトイモ	14
オクラ	16	ミョウガ	3	カブ	4
トマト	6	ミツバ	5	ニンジン	5
アズキ	13	クレソン（オランダガラシ）	4	レンコン	15
キュウリ	12	ニラ	2	ウド	7
メロン	12	セロリ	5	ショウガ	3
ササゲ	13	ネギ	2	タマネギ	2
ピーマン	6	キャベツ	4	ヤマユリ	2
マクワウリ	12	パセリ	5	ラッキョウ	2
ダイズ	13	レタス	1	ワサビ	4
ソラマメ	13	シソ	10	ニンニク	2
スイカ	12	ハウレンソウ	9	ウコン（ターメリック）	3
トウガラシ	6	モロヘイヤ	16	ヤマイモ	17

- | | | | | |
|----------|----------|-----------|----------|--------|
| 1ーキク科 | 2ーユリ科 | 3ーショウガ科 | 4ーアブラナ科 | 5ーセリ科 |
| 6ーナス科 | 7ーウコギ科 | 8ーキンポウゲ科 | 9ーアカザ科 | 10ーシソ科 |
| 11ーヒルガオ科 | 12ーウリ科 | 13ーマメ科 | 14ーサトイモ科 | 15ーハス科 |
| 16ーアオイ科 | 16ーシナノキ科 | 17ーヤマノイモ科 | | |

オー君 「ところで、植物は食べるだけじゃなくて、他にどんなことに使うのかな？」

花ちゃん 「おうちを建てる時に、木はなくてはならないわね。」

モンタ博士 「そのとおりだね。日本のおうちを立てる時には、スギやヒノキを使うね。日本は70%は山と言われているんだよ。その山のうち、80%がスギやヒノキをうえているさ。」



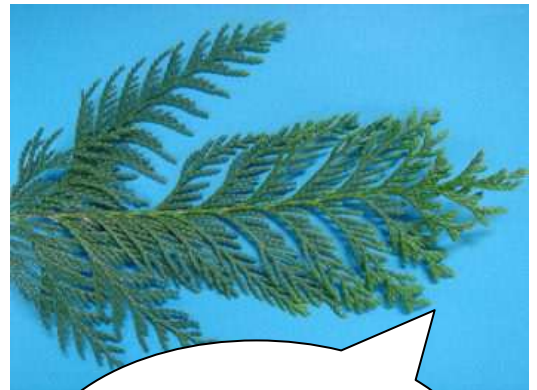
**ぼくはスギです。
まっすぐのびるので、スギ(すぐ)になったそうです。**

オー君 「そんなにスギとヒノキだらけなんだ。」

モンタ博士 「今、日本の国でまったくの自然の林とか天然(てんねん)の森とか言われているのは、本当に少ないんだ。」

花ちゃん 「同じ物ばかりうえたら、そこに出てくる植物も種類が少なくなってしまうの。」

モンタ博士 「そのとおりだよ。むずかしい言葉でいうとね、多様性というのが、生き物の世界では、とっても大切なことなんだ。」



**私はヒノキです。
木と木を合わせて火をおこすのでヒノキ(火の木)です。**

オー君 「おいら、スギとヒノキの森では、あまり虫とかとったことないもんな。」

花ちゃん 「それに、スギとヒノキは花粉症(かふんしょう)のもとになるんでしょう。」

モンタ博士 「おうちを立てるためには、スギやヒノキが必要(ひつよう)といったけどね、このごろは、外国からやすい木がいっぱい入ってきてね、日本の木の方がねだんが高いくらいなんだ。それで、山の仕事(しごと)をする人がへって来て、山がどんどんあれてきているんだよ。こまったことさ。」

オー君 「まったく、こまっちゃうね。スギやヒノキにはね…。」

モンタ博士 「でもね、スギというのは日本にしかない植物なんだよ。昔から、日本人はスギにとってもお世話になってきたんだ。もし日本にスギがなかったら、日本の文化は発展(はってん)しなかっただろうね。くわしく言うとね…」 つづく。